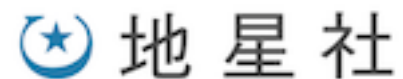


# 特定非営利活動法人 地星社

第6期 事業計画書

2017.4.1 - 2018.3.31



## 地域にある力を見出す、引き出す。

今年度の事業計画策定にあたり重視したのは、地域にある力を見出す、引き出すということでした。

地域におけるさまざまな課題、例えば移動困難者やひきこもりのことについても、一つの団体だけでは対応が難しいことも多く、地域としてどう取り組むかが重要になります。

被災者の住まいの復興が進展する中、地域における課題解決力の強化はますます必要とされています。昨年度実施したガイドブック作成事業も、こうした問題意識から行なったもので、第一段階として地域の社会資源としてどのような団体があるか可視化することを目指しました。

復興支援団体も、被災者に対する直接支援から、当事者を主体とした間接支援に活動をシフトしていく必要があるでしょうし、すでにそうした動きも起きていると感じます。

こうした観点から、昨年度に引き続きガイドブック作成とそれに付随する事業を行い、地域内の団体・機関の連携促進を図ります。また、新たに実施する支援員調査事業は、今後の地域づくり・地域福祉を担うキーパーソンとして被災者支援員・復興支援員の可能性に着目したものです。

相談・個別支援事業でのプロジェクト支援も、今後は地域に対する展開として参加型調査の手法を模索していきます。

今回の事業計画の特徴として、調査・情報提供事業においてはロジックモデルを作成し、掲載しました。当該事業が、どういう成果を目指しているのかがわかりやすくなったのではないかと思います。事業計画のつくり方自体も工夫を重ねていきます。

今年度も引き続きご支援、ご協力のほどを何卒よろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人地星社  
代表 布田 剛

地上の星を支援し、増やす。

## 地星社ができたいきさつ

2011年3月に発生した東日本大震災により、私たちは多くの困難に直面しました。しかしそうした困難に対し、多くの人や組織が立ち上がり、復興に向けて助け合い、支え合い、励まし合う活動を始めました。

震災は、私たちに大きな試練をもたらしましたが、その一方で私たちは、人が社会的課題に立ち向かう力の強さを改めて認識することとなりました。

社会をよりよくしようと活動する人や組織は、たとえ世の中に知られてなくても、地上に輝く星というべき存在です。私たちが震災からの復興を成し遂げ、その先に続く未来をつくっていくには、こうした地上の星たちを支え、増やしていくことが大事です。

そのための組織として、特定非営利活動法人地星社は2013年3月に設立されました。

## 私たちが目指すもの

私たちひとりひとりが地域づくり・社会づくりにかかわっていく社会の実現。

## そのために私たちがすること

社会をよりよくする活動を行っている人や組織を支援し、増やしていく。

## 活動において大事にしたい原則

### 1. 信頼の原則

人や組織には、社会を変える力が本来備わっていることを信じ、その力が活かされるよう後押しする。

### 2. 互敬の原則

人を大事にし、互いに敬い合う関係性を築く。

個別支援を中心とした中間支援のかたちを模索しながら、組織基盤をつくってきました。

期	事業における主な取り組み	組織運営における主な取り組み
第1期 (2012年度)	・個別支援の開始	・組織の立ち上げ、法人化 ・組織の基本方針の決定
第2期 (2013年度)	・復興支援活動団体の状況の把握と分析	・専任スタッフの有給化
第3期 (2014年度)	・伴走型中間支援の具体化 ・個別の社会的課題での可視化支援	・認定NPO法人取得
第4期 (2015年度)	・プロジェクト支援の本格化	・活動の基本の設定
第5期 (2016年度)	・参加型調査の取り組みを開始 ・地域資源の可視化(地域活動団体ガイドブックの作成)	・非常勤スタッフの雇用 ・中期計画策定への取り組み

「調べて伝える」を軸としたコミュニティづくりと課題解決を、活動の基本方針とします。

## 活動の基本方針

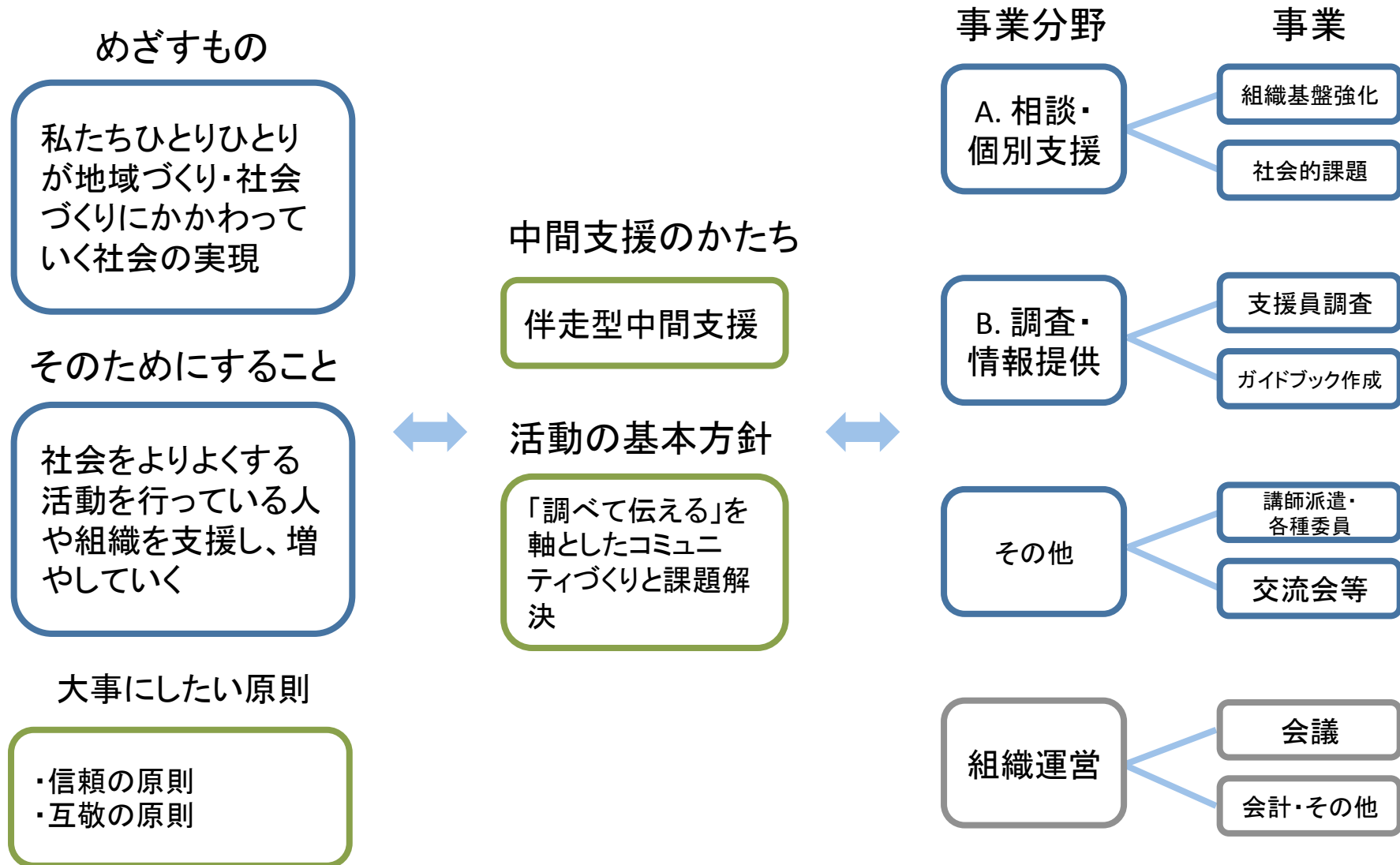
「調べて伝える」を軸とした  
コミュニティづくりと課題解決

### 「調べて伝える」

- ・問題の起きている状況を構造的に把握し、介入できるポイントを探る。
- ・ステイクホルダーとの間で問題認識を共有する。

### コミュニティづくりと課題解決

- ・テーマ型コミュニティ...「調べて伝える」ということに関心を持つ人たちとのコミュニティをつくり、課題解決につなげていく。
- ・地域コミュニティ...地域の中で「調べて伝える」ことで課題解決を図る人たちをサポートし、地域づくりにつなげていく。



※これまでの「人材育成・ネットワーキング」事業の内容はその他に含めた。

調査・計画づくり・評価の支援を通して課題解決を促進させていただきます。

### 事業の背景

震災後、新しく立ち上がった復興支援団体への個別支援の必要性を感じたことが、地星社をつくったきっかけの一つであり、設立当初から資金調達や法人運営、認定NPO法人取得などのテーマで継続的な個別支援を実施してきました。

このように、相談・個別支援は地星社の基本となる事業であり、現在は特に、団体に取り組んでいる社会的課題への調査のサポートに力を入れています。サポートのあり方も、依頼を受けて地星社が調査を企画するような方法から、研修やワークショップをしながら支援先団体と一緒に調査内容を考える方法に変えつつあります。

今後はさらに、当事者や地域のステークホルダーも参加できるような参加型調査のあり方を模索していきます。

### 事業概要

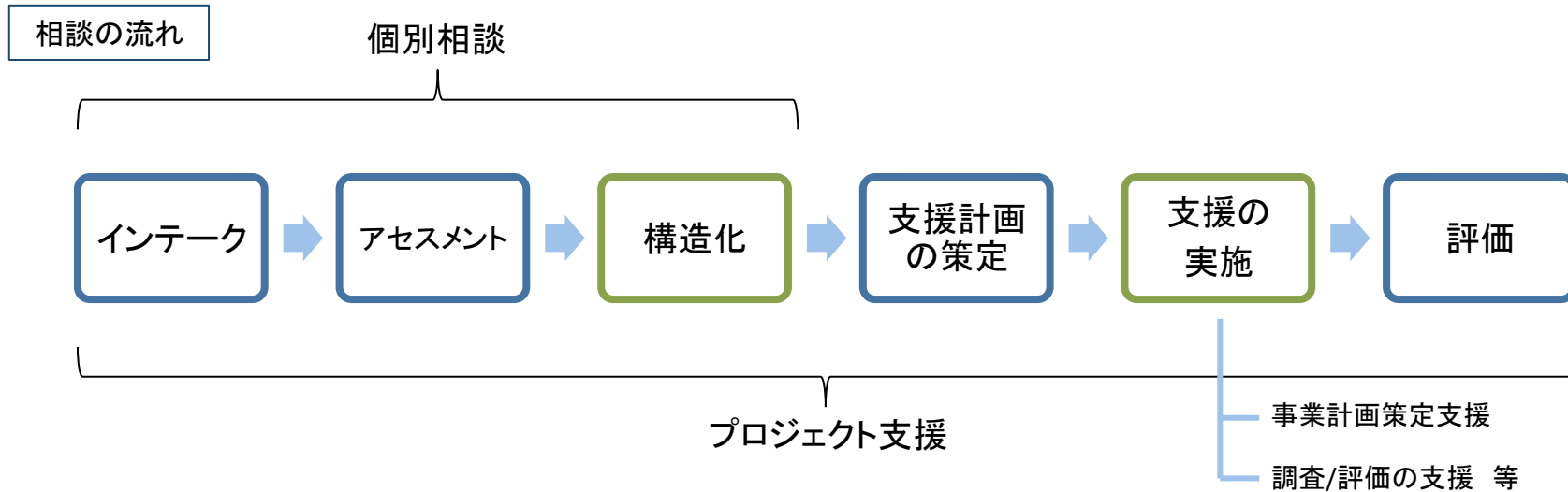
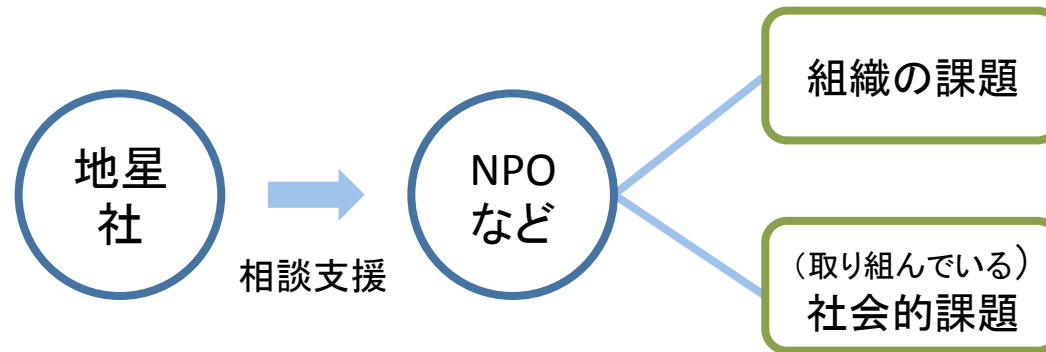
#### 目的

調査・計画づくり・評価等についての個別支援をすることで、組織基盤強化や課題解決を促進させる。

#### 実施内容

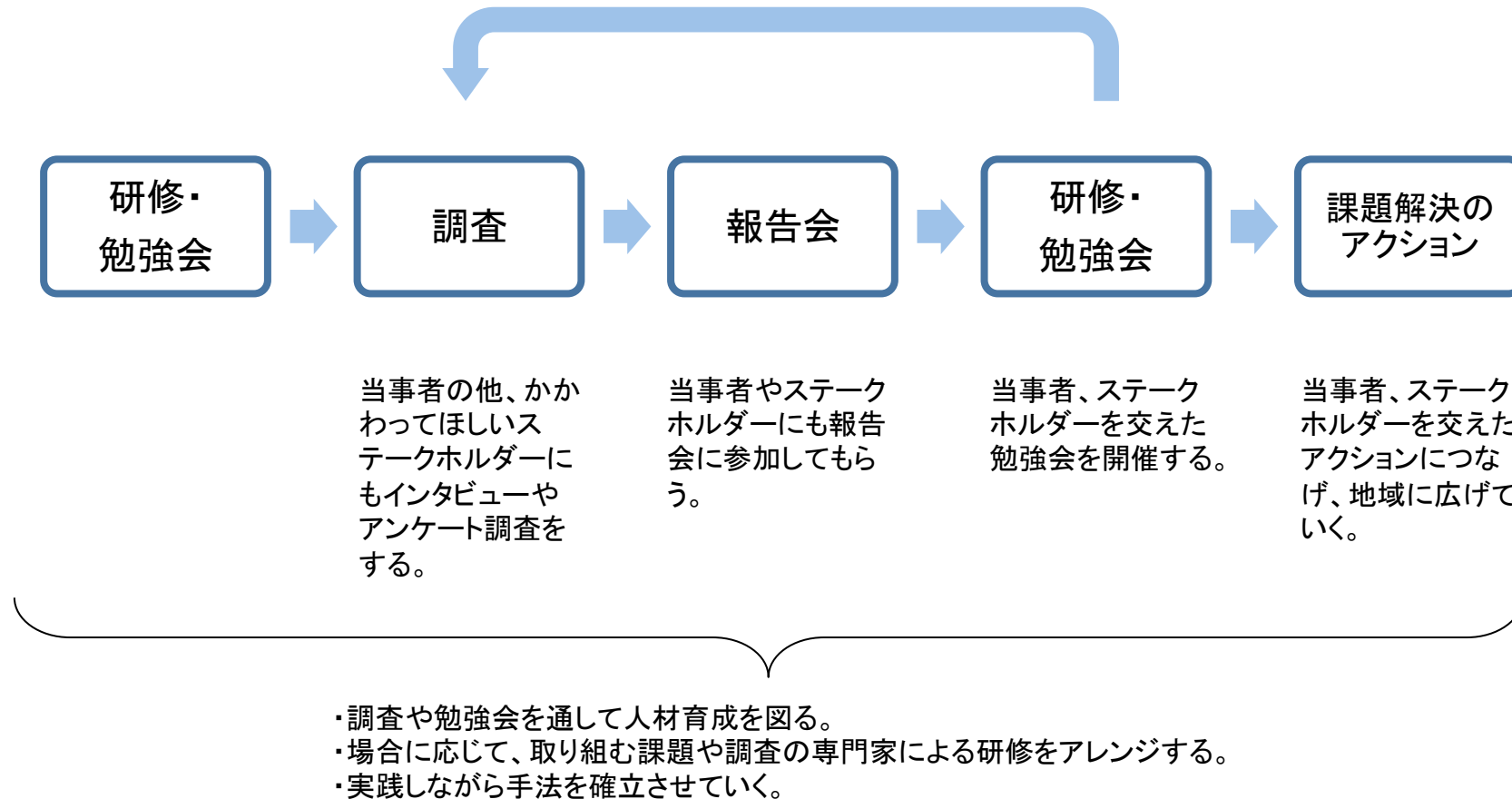
依頼を受けて随時個別相談を実施。必要な場合は支援計画を立て、プロジェクトとして行う。

個別の相談支援から、プロジェクト支援につなげていきます。





プロジェクト支援では参加型調査によるコミュニティの課題解決力強化を目指します。



地域づくりの担い手として、被災者支援員・復興支援員の可能性を探ります。

## 事業の背景

被災者支援員あるいは復興支援員といった形で、震災後の支援活動にかかわってきた方たちがいます。こうした支援員の多くは、自身が被災者で、震災前は地域づくりや福祉の仕事には携わっていない、いわば「素人」の方でした。

しかし、専門職とは違い、同じ被災者・生活者の視点を持つからこそ、支援活動において果たせた役割・価値があるのではないかと、そしてそれは被災者支援・復興支援の先にある地域福祉・地域づくりにも活かせるのではないかと。そうした観点から、支援員の方たちを対象としたインタビュー調査を実施することにしました。

今回の調査は、トヨタ財団「しらべる助成」プログラムの助成を受けて、4月から9月までの半年間で実施します。調査結果を元に、地域づくり人材育成プログラムを企画し、次年度の「そだてる」助成プログラムに申請予定です。

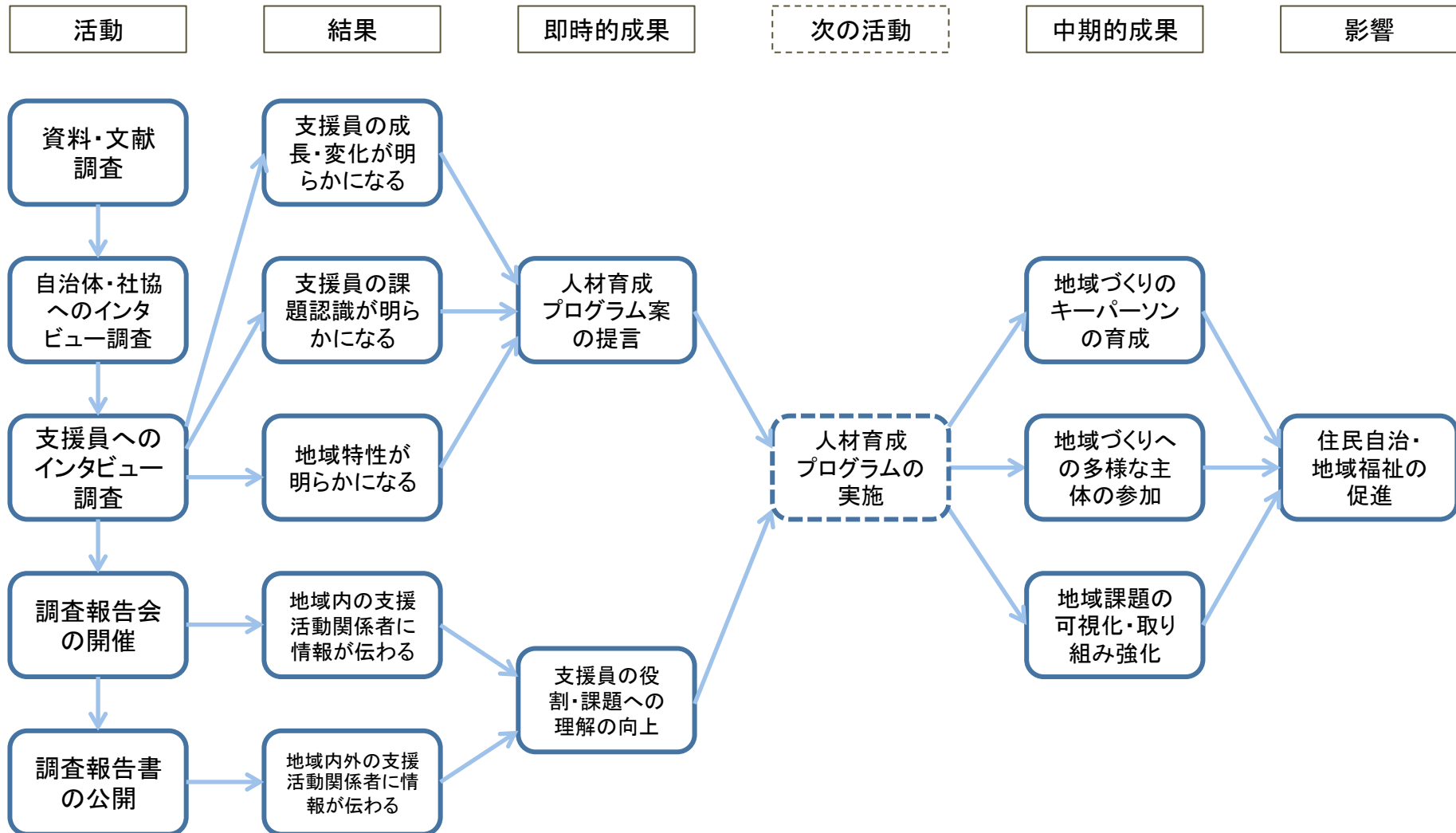
## 事業概要

### 目的

被災者支援員・復興支援員が震災後の新しい地域づくり・地域福祉の担い手としてどのような可能性を持っているかを調査によって明らかにし、その結果を元に地域づくり人材育成のプログラムをつくる。

### 実施内容

- ① 調査メンバー、アドバイザー、連携団体で会議を実施し、調査の論点整理と分析を行う。
  - ② 気仙沼市、南三陸町、東松島市の支援員および自治体の担当課、所属団体にインタビュー調査をする。
  - ③ 調査結果を元に人材育成プログラムをつくる。
- \* 宮城県サポートセンター支援事務所、東北圏地域づくりコンソーシアム、本間照雄氏（東北学院大学地域共生推進機構特任教授）との協働事業



ガイドブックをツールとして、地域の団体・機関の連携促進を図ります。

## 事業の背景

前年度、『宮城県 被災地・地域活動団体ガイドブック』を作成し、沿岸被災地を中心に250団体の情報を掲載することができました。ガイドブックに対する需要は大きく、特に行政機関やマスコミからの問い合わせや配布申し込みを受けています。

ガイドブックを作成するにあたっては、地域で活動する団体同士や、団体と行政機関、企業などとの連携を促進させることを次の目的としていました。そこで、今年度はガイドブックに掲載する情報の追加・アップデートをしつつ、さまざまな主体が互いの活動を知る取り組みやしかけをしていきます。

また、ガイドブックの作成だけでなく、ウェブへの記事掲載、学習会の開催など付随する事業全体を通し、情報と参加のネットワークを広げていきます。

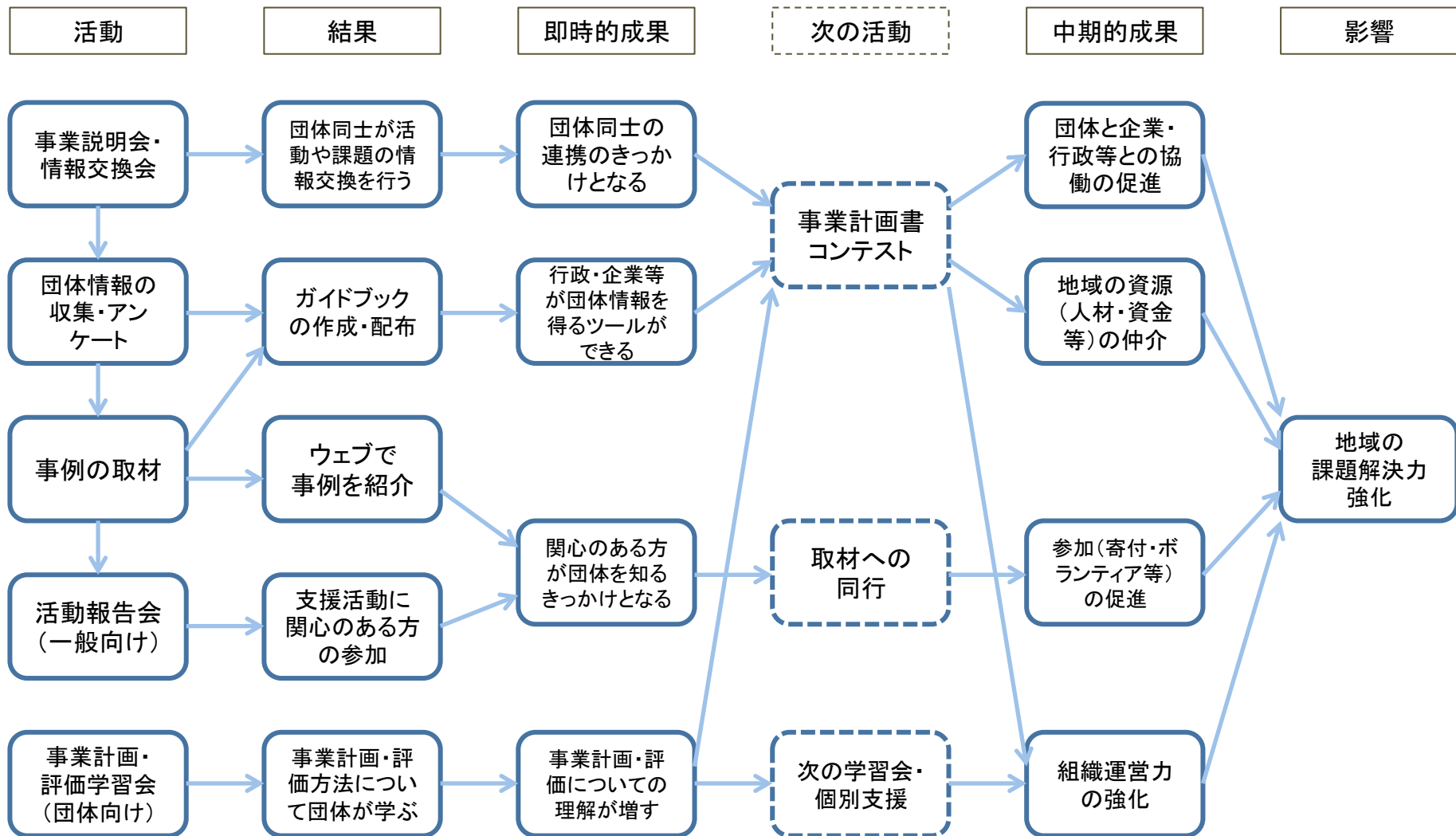
## 事業概要

### 目的

前年度作成した『被災地・地域活動団体ガイドブック』の情報アップデートとともに、団体・機関の地域における連携促進を図る。

### 実施内容

- ①『被災地・地域活動団体ガイドブック2018』の作成と地域における連携促進を行う。
  - (1)説明会・ネットワーク会議の開催と関係機関の訪問をする。
  - (2)団体情報の収集と組織運営課題アンケートを実施する。
  - (3)地域づくり事例・連携事例を取材する。
  - (4)報告会の開催と広報をする。
- ②事業計画・事業評価講座を開催する。



役員の増員も図りながら、組織基盤を強化していきます。

## 重点項目

### ① 役員の増員

今後の目指す方向性を踏まえて役員の増員を図り、組織運営の強化をしていく。

### ② 会員の増加

特に正会員の増加を図り、地星社の意思決定や事業実施に参加する人を増やす。

### ③ スタッフ間の適切な業務分担

常勤、非常勤、外部スタッフ、ボランティア等のそれぞれの役割と業務分担の最適化を図る。

## その他の実施内容

### 理事会・会議の開催

隔月1回程度で理事会を開催する。日常的にはメーリングリストで情報共有・意見交換をすることで、機動的な組織運営を行う。また、必要に応じ役員間や、会員を入れての会議を行う。

### 事業評価・計画会議の実施

地星社の事業について、会員やステイクホルダーも参加できる事業評価・計画会議を実施する。

名称	特定非営利活動法人 地星社
法人設立	2013年3月1日(任意団体設立 2012年9月1日)
認定取得	2015年3月31日
所在地	宮城県岩沼市中央4-8-77
役員	理事:布田剛(代表)、真壁さおり(副代表)、河合豪雄、高橋陽佑 監事:門田陽子、高田篤 (任期:2015年7月1日~2017年6月30日)
スタッフ	常勤:布田剛
会員数	正会員11名、準会員(賛助会員)14名、3団体
URL	<a href="http://chiseisha.org">http://chiseisha.org</a>
メール	<a href="mailto:office@chiseisha.org">office@chiseisha.org</a>

(2017年4月1日現在)